

# 第16回型技術シンポジウム 「日本における金型製造の課題と将来展望」

◆開催日時：2009年3月24日(火) 13:00～17:00

◆開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 2F 北館ホール

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

キャンパス案内 <http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

◆主催：型技術協会

◆開催趣旨：

2008年9月、アメリカの金融事業の失敗に端を発し、世界中が政治と経済の混乱の中に一気に巻き込まれました。現在、誰もがそしてあらゆる業種が自信をもてない状況にあります。日本社会そして金型業界も例外ではありません。こんな時こそ、基本に立ち返り、自らを省みるチャンスと捉え、このようなシンポジウムを企画いたしました。

本シンポジウムでは、日本における金型製造の課題をユーザの立場そしてメーカーの立場から洗い出し、今後、日本の金型製造ならびに関連技術（工作機械、切削工具、金型材料）の展開と可能性について検討いたします。最後に、パネル討論においては、講演者そして参加者の皆様とともに、日本の金型製造の方向性・将来展望について議論したいと思います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

◆プログラム 進行：鈴木 裕（九州工業大学）、青山英樹（慶應義塾大学）

- |             |        |   |
|-------------|--------|---|
| 13:00～13:05 | 開 会    | 型技術協会 副会長 鈴木 裕 氏  |
| 13:05～14:05 | 基調講演   | 「日本の金型産業は日本が誇る世界の宝<br>－負けない麻雀で不況期を凌ぎきれ－」<br>政策研究大学院大学 教授 橋本久義 氏 |
| 14:05～14:45 |        | 「日産自動車のモノづくり～NPWを軸とした金型づくり～」(仮題)<br>日産自動車(株) 常務執行役員 酒井寿治 氏      |
| 14:45～15:00 | 休 憩    |   |
| 15:00～15:40 |        | 「キャノンにおける金型の方向性」<br>キャノン(株) 成形金型開発センター所長 島淳一郎 氏                 |
| 15:40～16:20 |        | 「モノづくりこそ日本の砦」<br>(株)伊藤製作所 代表取締役社長 伊藤澄夫 氏                        |
| 16:20～16:55 | パネル討論会 | 司 会：型技術協会 副会長 鈴木 裕 氏<br>理事 青山英樹 氏<br>パネリスト：講師全員                 |
| 16:55～17:00 | 閉 会    |   |

◆募集人数 : 150名

◆参加費 : 会 員 12,000円  
一 般 18,000円

◆申込締切 : 2008年3月17日(火) (<http://www.jsdmt.jp/>)

◆申込方法 : ホームページよりオンライン申込ください。

お申込の場合は、代金の振込方法を記入し、振込日をご記入下さい。当日現金払いは避け、できるだけ銀行または郵便振替にてご入金下さい。

振込銀行 三井住友銀行 三田通支店 普通預金 No. 7813068 型技術協会  
郵便振替 No. 00160 - 1 - 35639

※ 振込手数料は各自でご負担願います。

◆申 込 先 : 型技術協会

〒231-0011 横浜市中区太田町 6-79 マスミューチュアル生命横浜ビル 201 号室

電話 : 045-224-6081 FAX : 045-224-6082

Eメール : [info@jsdmt.jp](mailto:info@jsdmt.jp)

- ◆ご注意 : 1) 参加決定者には参加券及び地図をお送りいたします。参加券は当日ご持参下さい。  
2) 参加費は開催日以前に入金されるようお願い致します。  
3) 参加費納入後は取消の申出がありましても参加料は返金致しませんのでご了承下さい。